



# 神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第15号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2003年1月1日号, No.15

## 第15号の目次

1. 2003年を迎えて  
神奈川RB代表 井上哲也
2. 七都県市防災訓練報告・神奈川県民サポートセンター編  
(2002/9/1)～震災時活動研究分科会～
3. イベントレポート
  - 木曾奈良井宿ツーリング  
(2002/10/13-14)・太田隆行
  - 第22回横浜マラソンサポートについて  
(2002/11/10)・河内善徳

編集後記

## 2003年を迎えて

神奈川RB代表 井上哲也



神奈川RBが足立し、4年が経過しました。震災時活動に限らずボランティアという活動に対し素人だった我々は、常に暗中模索の日々でした。しかし4年以上(設立までの準備期間を含めると6年以上)、継続しているということは、我々をとても勇気付ける様に思えます。ひとつの実績とも考えられます。

さて、昨年度を振り返ると、七都県市総合防災訓練への参加が最も大きなイベントの一つでした。開催日が日曜日であったことも幸いし約20名の大規模な参加が実現できましたが、参加形態についても移動本部2台(4輪車及び2輪各1台)、搬送隊12台、記録班3台、横浜に設置された災害ボランティア本部に3名、小田原城東高校にある地域ボランティア本部に1名という大掛かり且つ広範なものとなりました。訓練自体は物資搬送という任務でしたが任務遂行の外側を見ると、大人数での行動の方法、効率的に隊に分割する方法、移動時の安全の確保、また他の団体との連携と言った、任務を遂行するための基盤の部分が円滑に行えました。これらは目立ちにくい部分かとは思いますが、長年の活動で培った我々の大きな実力だと評価します。

この様にイベント一つへの参加を取り上げて考えてみても、我々の実力は自分たちが意識している以上に日々向上していると理解できます。仮に今年災害が発生しても、個々の基本能力に加えてそれらを活用することである程度レベルの高い支援活動は実現できると想像します。

2003年の活動方針にもなりますが、それら現有の行動能力を最大限に発揮できる体制の整備を今年から具体的に検討していきたいと思えます。この検討を通じて組織的な能力が現在以上に向上されることを期待します。

その検討の方法は、具体的には震災時の活動方法について議論を重ねることが全てと言ってもよいと思います。震災時活動マニュアルにまともなことも考えられますが、過去の経験からその作業自体が目的となりやすく、またどんな事態にも対応できるものを作成することは困難です。やはり継続的にミーティング等で議論を重ねて活動イメージを共有していくことが、無形ではありますが最も有効な方法であると思います。この様に今後も各メンバーそれぞれの参加・意見が、神奈川RBの活動の原動力となります。本年度も積極的にミーティングやイベントに参加して下さい。お願い致します。

## 七都県市防災訓練2002報告2

### 震災時活動研究分科会

前号で七都県市防災訓練についてのレポートを特集しましたが、小田原会場以外でも多くの訓練が行われました。以下に震災時活動研究分科会リーダーの山田さんと沖野さんが参加した横浜のサポートセンターでの無線運用訓練のレポートを掲載します。無線訓練はかなり、実践に近い内容となったようです。以下本文。

### 神奈川県災害救援ボランティア支援センターサポートチーム無線局運用に従事して

山田 泰(JR1HDE)



本来は私も7都県市総合防災訓練では小田原で緊急物資のバイク搬送に参加の予定でした。しかしかながわ県民活動サポートセンターに開設される神奈川県災害救援ボランティア支援センターサポートチーム(以下サポートチーム)の無線局運用参加の話が急遽発生し、RB本体とは離れ、

サポセン無線局運用に従事する事になりました。

KRB活動でもメンバーの安全確保、所在の確認、また情報交換、発信の手段として無線は必須であると考えておりましたので喜んで参加した次第です。期待通り、今回複数の無線局と情報交換をする中で統括無線局の運用方法や入手情報を正しく伝える方法を経験することが出来ました。またサポセン無線局を準備、運用した新たな方々との人脈も得ることが出来ました。(なお、無線にはKRB沖野さんも参加されました。)

以下、概要をKRB向けにレポートします。(詳細運用報告はサポートチームから発行予定)

#### 1. 参加無線局

- 1) 小田原アリーナ統括局: JK1FOQ吉原さん
- 2) 小田原城東高校局: 7N2TXP柴田さん
- 3) 横須賀市役所: JH1YLF中野さん
- 4) 川崎市役所(JO1ZBX北澤さん)
- 5) 横浜サポートチーム(JN1YUZ青木橋ラジッククラブ 斉藤、中沢さん)が訓練交信を実施した。

また、KRB本部(7M4KGG坂本さん)発信情報は統括局より他無線局に転送された。

## 2. 通信状況(サポセンで受信した状況)

使用周波数: 433.20MHz FM

1)アリーナ統括局: 59 非常に強力で常時通信可能であった。ハンディでも受信できた。また、KRB入場走行シーンがSSTVで横浜に送られ受信できました。

2)城東高校局 : 35 - 45 だいぶ弱く時々ノイズに埋もれ安定的な通信はできない状況

3)横須賀市役所: 59 強力でした。

4)川崎市役所 : 59 強力でした。

5)KRB本部: 35 - 48 だいぶ弱かったがかなり明瞭な時があった。(サポ - チームとは交信せず)

6)サポートチーム先遣隊吉川さん: ハンディ - 使用横浜では全く入感無し

## 3. 支援チーム無線局概要

1)アンテナ: 430MHz 用垂直型使用(屋上60m高に設置、オヘレインクルーム15階まで同軸)

2)トランシーバ 1台

3)SSTV用PC1台

## 4. 感想

1)今回、神奈川県西部小田原と横浜間の無線のルートが 430MHz で通常のモバイルトランシーバで開設出来ることが確認できた。

2)たとえバイク運用でも運用地点を選び、モバイルトランシーバを使用し場合によっては八木ビームアンテナ(430MHz 用ビームアンテナは小さい)使用により安定した交信が可能と思われる。

3)この結果はRB間広域無線活用へも展開出来るのではないかと思います。千葉、東京、神奈川、静岡を見ると位置的にも神奈川は重要に思えます。

4)無線使用に関して今回初めてKRB本部の無線局設置、またサポートチーム無線局運用と2つの実践経験をしました。今後、有資格者を増やすこと、交信に慣れる為、交信コンテスト等への参加やまた、丘や山の高所へ移動してフィールドサービスなどしたいですね。

5)KRBとしてJARL、郵NET、赤十字の非常通信組織との交流で活動方法、機材などのノウハウを得ることまた、協同訓練などに発展させたいとおもいます。

## 5. 最後に

参加機会を提供いただいた北澤さん、宇田川さん、関係者の方々に御礼を申し上げます。

## 初めての全体訓練に参加して

丸田 徳人

防災の日の9月1日(日)に行われた七都県市総合防災訓練は、私としては初めて参加する本格的な訓練でした。災害時の関係機関がどのような動きをするのかを見、自分としても実際に走行することで万一の出勤時の心構えを得るつもりでした。今回は、小田原漁港から小田原アリーナへ救援物資を運ぶ物資輸送班の一員として参加しました。前日、携帯品をチェック。事前に案内された訓練内容を参考に、RBゼッケン・セロテープ・ビニール袋・荷物用コード・救急セット・地図等を用意しました。さて当日。7:20、快晴の中、酷暑になることを覚悟しながらJR根岸線本郷台駅近くの自宅を出発。R1-R134-西湘BPと進

み、途中西湘PAでRBゼッケンを着け8:40小田原漁港着。そこにちょうど辻谷さんも到着し、二人で待つも誰一人来ないのです。辻谷さんはノートPCで連絡を試みるもうまくいかない様子でした。集合時刻になり焦っていたところ太田さんが見つけて迎えに来て下さいました。私たちは他の皆さんとは離れた場所にいた訳です。訓練でよかった…。申し訳なさとお恥ずかしさで身が縮む思いで、やっと皆さんと合流することが出来ました。しばらく待っていると海保の巡視艇より救援物資(今回は乾パン10箱)が陸揚げされ、各自1箱ずつバイクに積み、整列後直ちにアリーナへ向け出発。2班に分かれ整然と隊列を組んでの走行。周囲を走行するドライバーも我々に注目している様子でした。そして全車無事に会場に到着することができました。とりあえずホッと一息。指定場所にバイクを駐車し、次の出番まで待機です。その後、会場走行まで1時間以上の間があったので、しばらく会場内を見て回りました。災害用特殊工具や飲料水袋詰機等、様々な防災関連の展示ブースを見た後、会場中央で行われた地元住民や消防による消火・救助訓練。また車両・航空機の展示走行を見学しました。NTT等ライフライン関連の企業も消防と同様に災害時用のバイク部隊を持っていたり、郵便バイクも救助訓練を行っているのを知ることができ、大変参考になりました。次はいよいよ、会場内での走行です。長い縦列になり、スタンディング走行で多くの参加者の見守る中、場内を一周、やや緊張気味でしたが、KRBを紹介する声が聞こえてきて、少し誇らしげな気分になりました。退場後、会場隣の学校に救援物資を積み下ろして、駐車場に戻って走行は終了です。それから再び待機の後、閉会式。他の参加者と共に会場中央に整列し、岡崎県知事はじめ関係者の講評をいただいて閉会となりました。その後近くのそば屋で、メンバー全員で楽しく打ち上げを行ってから解散しました。暑く長かったのですが、軽い疲労感と共に充実感を得た一日でした。訓練に参加することで各団体機関でどのような取り組みが行われているかの一端でも知ることができましたし、自らも集合時のミス等、実際動くことでの反省を含めてよい経験になりました。こうした訓練を通じ、個々のメンバーが経験値を上げることでKRB全体のレベルアップにつながると思います。参加メンバーの皆さん、お疲れさまでした!

## イベントレポート

### 木曾奈良井宿ツーリングレポート

太田隆行

10月13日 - 14日、バイク分科会リーダー渡辺さんの呼びかけで神奈川RBをはじめとして総勢10名余りが参加し秋の真っ只中、中山道の宿場町、木曾は奈良井宿に向けてのツーリングが行われました。主催は渡辺BBLのお付き合いのあるバイクショップスナップリング(相模原)で、RBからの参加は渡辺BBL、神林、太田の3名でした。10月と



はいえ、当日はこの秋一番の寒さで朝の集合時は本当に鼻水も凍りそうな寒さでした。

#### 奈良井宿を歩く神林氏

7時に談合SAに集合したメンバーはOFF車あり、ロードスポーツあり、ツアラーありで雑

多でしたが今回は現地でもオフ班、ロード班に分かれて思い思いの走りを楽しもうと言う企画でした。談合坂から思い思いに走り伊那ICに、伊那ICからは南アルプスを横断する権兵衛街道を抜け、奈良井川沿いを奈良井宿に向かいました。

### 奈良井名物百草丸

奈良井宿は中仙道でも栄えた宿場町で奈良井千軒などと呼ばれていたそうです。周辺には大宝寺、長泉寺、法然寺など



の古刹がひしめき、お出梁造り(おだしばりづくり)と言われる建物が延々と続いていました。また、日野百草丸と呼ばれる胃腸薬の生産地でもあり、東海道の宿場とは全く異なる雰囲気を感じさせていました。(家庭へのお土産は百草丸にしました。)

メンバーは今日の宿、民宿「しまだや」に荷物を預け、新そばを求め宿場の中をさすらいしました。蕎麦の産地で知られる開田高原や安曇野を控えた奈良井宿はおいしい蕎麦が食べられることでも有名だったので。雰囲気の良い民家風の蕎麦屋で思い思いに蕎麦を食したあとはオンオフ分かれてのツーリングとなりました。

神林さんと太田はオフ班としての3名の方々と共に林道を目指します。メンバーのうち、2名がトライアル経験者ということでいつのまにか林道から廃道へ、廃道から河原へと道無き道を進むこととなりました。夕方まで思い思いに走ったオンオフ班は民宿にたどり着くなりお決まりの大宴会。昼間のツーリング話を肴に大いに盛り上がりました。

翌日は、やはり、昼食合流までオンオフに分かれることとし、オフ班は先日の台風で大荒れとの情報もある月夜沢林道から野麦峠を目指すこととなりました。月夜沢林道は同行のトライアンフ・タイガーが横転するなどかなり荒れが目立ちましたが何とか助け合いながら10キロあまりを走破しました。しかしながら、土砂崩れ現場が相次ぎ、「無理は禁物!」と、ついにあと2-3キロを残して撤退することになりました。天気が最高だっただけに本当に残念でした。自分の運転技術がもう少し違ったら行けたかも?などと考えると他のメンバーには悪いことをしました。

### 山中で悪路との格闘

再びオン組との集合は奈良井宿。総檜造りの木曾の大橋前で待ち合わせし、一気に帰途を目指します。国道19号を北に上り塩尻へ、諏訪湖ICで昼食後、マシンに合わせたペースで帰途に着きました。



林道を求めさすらい時間も長かったツーリングでしたが美味、走り、泊りとも満足な2日間でした。



渡辺さん、スナッピングさん、お疲れ様。ありがとうございました。

スナッピング... <http://snapping.jp/>

ここで。

## 第2回横浜マラソンサポートレポート

河内善徳

11月10日(日)「第22回横浜マラソン」が行われ、大会サポート要員として参加してきました。大会自体は、多少の負傷者はいたものの無事終了いたしました。大会サポートに当って気づいたことをレポートします。今回は無線機に問題が多々あり昨年と同じものを使っているにもかかわらず、通話がほとんど行えませんでした。これにより、日ごろの整備と訓練が重要だということを再認識させられました。また、日赤からのお手伝いとして弐拾数名参加者がいましたが、これだけではコースの全てをフォロー出来る訳もなく場所がはっきりしなかったりして待機場所から離れた傷病者に対してあまり役に立てなかったという話がありました。これは日赤と同じくお手伝いしてくださっている体育協会の方々などと事前打ち合わせや連絡不足等により協力が得づかった事に原因の一つがあった様でした。各団体とも今まで何度横浜マラソンお手伝いをしているにも関わらずこんな状態ですから、いざ災害が起こった時に横の連絡がどれ程取りづらいか何となくですが実感しました。



傍で見ていて思ったのですが、ランナーは道いっぱいに広がって走っているため、自転車ですとぶつかって怪我を負わせてしまうかもしれ

れません。反省会でも自転車を使ってはどうかという意見も出ましたが、調達方法、現場への運送方法といった問題もありますのでそれは今後の検討課題だと思います。携帯電話は日赤内の参加メンバーの一覧に番号が載っていましたので無線に問題があった分、有効に使われたと思います。10km 折り返し地点を担当していた私のところの無線機は、中継を行うことになっていたタワーの無線機の動作不良により持って行かれたため、電話でしか連絡が取れなくなってしまいました。結局、10km 折り返し地点ではこれといって問題は発生しませんでしたので特に不自由はありませんでした。実際の例として、ランナーの一人が500m ぐらい前でうずくまっている人がいると教えてくれたそうです。今回、二人一組で行動していたメンバーは、各組ごとに組み立て式の担架を持っていました。これは昨年末で使っていたものに比べ軽く、運びやすいものでした。しかし、運ぶにしても500mは辛いものがあり、実際は聞いたのよりはもっと離れており、あとで確認してみると隣の組のほうが現場に近かったそうです。他に現場に到着したときには他が手配した救急車がもうすぐ到着するところだったということもあったそうです。無線や電話で取り合う日赤内の連絡だけでなく、他の団体との横の連絡も重要であるということがこれで明確になりました。

反省会でも場所の特定、連絡方法に関しては、日赤は人数が少ない為、体育協会など他の団体メンバーを上手く使って救護を行う必要があるとの話になりました。無線に関しましては川崎の救護奉仕団の方からアマチュア無線を使ってはどうかという意見が出ました。しかし、以前KRBの掲示板でありましたクレームの事を思い出したので、私はその意見に反対し、特定小電力を使うことを提案しました。多少、そ

の方とは言い合いになりましたが、田島さん曰く過去にアマチュア無線を使用してクレームを受けたことがあったそうです。特定小電力も使用したこともあったそうですが距離のせいであまり使えなかったそうです。日赤の救護奉仕団は歴史が長い分、KRBで色々話し合われたり経験したことはもうとっくの昔に折込済みのようなのでした。近日中に新しい無線機を購入される予定があるそうですのでとりあえず、次回の横浜マラソンでは今回のようなトラブルは少なくなると思います。また、日赤関係の奉仕団の一つに無線奉仕団というのがあります。そこは長い間、アマチュア無線を使用して訓練をしているそうですが、田島さんはそのメンバーからクレームを受けたという話は聞かないそうです。田島さんは運用方法が良いのではないかとはいわれていましたが、もし機会があるならば、KRBでもその運用方法を学んでみてはどうかと思います。日ごろ色々な横のつながりを持つことも大切ですが、その内容をメンバー皆にフィードバックしなければ絵に書いた餅になってしまいます。そこで皆さんにお願いですが、他の団体などとお話する機会がありましたら出来るだけその内容をレポートとして皆に投げるようにしましょう。

#### 【その他のイベント】

運営ミーティング・11/10

定例ミーティング・12/1

RB合同キャンプ・12/7-8

ボランティアのための救護法研修会・10/15, 11/19, 12/17

忘年会・12/21

..!!お知らせ!!..

神奈川RB携帯電話用サイト開設中

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(i-mode/J-sky/EZwebの各形式対応)

会員向けの近日イベント予定などを載せていきます。

非常時には緊急のお知らせを出す事も検討中です。

皆さんの携帯電話にアドレス登録をしてください。

### 編集後記

ツーリングシーズンもあっという間に過ぎてはや、お正月です。皆さん去年は良い年だったでしょうか？今年はずばらしい年になると良いですね。とはいえ、来るべき東海地震、神奈川西部地震に向けて準備は周到にしたいものです。今年なのか、来年なのか、いつ来ても対応できる体制作りが大切ですね。

話は替わって、今年こそ高速道路での2輪車の二人乗り解禁ということ。と期待したら残念ながら実現は見送りになりました。賛否両論有りますが選択肢が増えないのは残念です。尤も自分に関して言えば、来るべき解禁に向け、同乗者の安全確保を想定し運転技術の向上あってこそと思います。

ともあれ、寒風吹き荒ぶ中ですが、冬のツーリングを楽しみたいものです。「ナベと温泉とツーリング」良い響きですね。(O)

#### 神奈川RB事務局

代表：井上哲也、事務局長：手塚則生

郵送先：〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax: 045-312-1862(取次ぎ:レターケース No.81 宛て)

URL: <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報 年4回発行)

発行者: 神奈川RB会報担当 太田隆行

神奈川RB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなでいきましょう！



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

店主: 中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel:0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30, 17:30~20:30(火・水定休、祝日は営業) 上記以外の期間 11:30~14:30, 17:00~20:00(火・水定休)

おにがわらへは冬季はバイクではたどり着くのは困難。

また、冬場は中嶋さんが更に味を極めるご修行の旅に出ておられることも有りますので事前に確認してください。